

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 2月号 (NO58)

2015年2月10日 (火) 発行 (毎月10日)

【農暦】平和で穏やかな日々にしていきたい！

○天候や雑事で延び延びになっているハウス補修、それに、畑の片付けも気になっていたが、兼ねてより考えていた柏の家の外壁の塗装を業者の売り込みもあり、今この時期と思い実施する事にした。考えていた予算とかなりの乖離かいりがあったので、慣れない相見積りするなどして23日には着工した。天候不順で工期が延び足場に囲まれた中での生活が続いた。本来なら“芽ぶき”の春の恵みを待ちながらゆったりした農閑期の時を過ごしている筈であった。工事進捗に合わせた対応や追加工事も業者との折衝は意外に多い。現状維持をするためだけに煩わしい事が多い。宿題は残さず少しずつクリアしていくに限ると思っ
て始めたのだが、未だ終わらない。気忙しい日々が続いている。

○先号で平和の文字が欠け始めているようで、何か嫌なものを感じる。と書いたが、後藤健二さんのニュースである。言葉を失う。時間の経過とともにいろいろなことが判って来た。ただ、今言える事は、憎しみの連鎖にはしてはならないと云う事である。正義と云わない戦争はないのである。武力では平和を作れない。武力行使容認の道に繋げてはならないと思うだけである。悪いニュースばかりに接しているの
で意識過剰になるのか、世相の変化が怖い。

○昨日足場が外され今日(5日)は小雨の中で濡れ縁の取り付けを行っている。そんな中で叔父の訃報である。気持が落ち着かない日々が更に続きそうである。先日(2日)は体調不調で、病院で精密検査を受け結果は問題なしと言われたが、一挙にいろいろなことが起こっている様な気がする。年頭のこの時期には温泉に浸かるなどで体調を整えたり、これからの畑の作付け計画をする時間にと
思っていたのだが、公私共に、重苦しい事ばかりで心休まらない。

○3日は節分で恵方巻を食べた。願えば叶えられると信じての“恵方巻”ではない。季節の祭事や家族のイベントは大事したいと最近では恒例にしている。美味しかった。4日は立春である。急がねばならないのだが、果樹の剪定作業と家の周りの枝切りや整理が少しだけやれただけである。もっとやれて良い筈と思うのだが、残り作業が多い。それにしても、



<ベランダからの雪景色>29日から降雪で例年より早い積雪。31日朝に撮影

天候、雑事、イベントなどとの相性が相変わらず悪い。多くを望む積りはないが、農を大事に土を楽しめるライフスタイルに戻したい。何よりも、平和で穏やかな日々をしたいものである。

【楽農】悪天候や雑事で片付け整理が進まない！

<畑A> ; キュウイとブルーベリーの剪定など

<ハウス> ; <畑B> ; 作業なし

* 黒豆の出荷。

* 家の周りの整理と刈り込みなど。

* ビニールハウスの張替材料を購入、天候と雑事で延期したまま。



<茨城大卒論発表会> “高機能化するグリーン・ツーリズム (ガルデン)” などの発表を聞く。7日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○その他; 初吟会 (12日)、山野草の会 (16日)、笠吟連新年会 (17日) 共生の会 (22日)、婚活サポーター講座 (30日・8日)、茨城大卒論発表会 (7日) に参加など。

【つぶやき=Tweet】週間ニュース深読み「21世紀の資本」とは！

○31日のNHKの“週間ニュース深読み”でフランスの若き経済学者トマ・ピケティの「21世紀の資本」を取り上げていた。彼の経済理論を分かりやすく解説していた。彼の著書『21世紀の資本』は、現代の『資本論』とも言われ、全世界でベストセラーになっています。その理論とは、ごく簡単に言うと、不動産や金融資産、工場・機械・特許などの資産を持つ人々が年間にあげる収益（これを資本収益率（ r ）と呼ぶ）は、人々が生産によって得る年間の収益（これを経済成長率（ g ）と呼ぶ）を常に（ $r > g$ ）上回る。したがって、資産を持つ人の収益と一般の人々との収益の差は毎年、確実に広がっていく。つまり格差は、外的な力がなければ、拡大し続ける——と言うのがトマ・ピケティの経済理論である。これをピケティは、約300年間のデータを分析して証明したのだと云う。現代資本主義の処方箋になると期待されて



<NHK 週間ニュース深読み> 格差社会の種明かし！ピケティ本はなぜウケる？ピケティの経済理論を分かりやすく解説している。テレビ画面から、。31日撮影

いるようだ。格差社会の問題を、そしてアベノミクスの経済政策を考える機会に出来たらと思った次第である。

○ピッコロファームの前回の例会での雑談で宇由が話題になったが、別の話題の一つで、Kさん（先月Kさんと別の）が“画期的な資本主義経済の本”が出ると言っていたが、咄嗟に、この本の事だと思った。1%の富豪が富を独占していると、世界的に富の公平を訴える運動が起こっている事は周知の事だが、この本は、この事を解き明かした経済学の本である。世界的に話題になっており、著者のトマ・ピケティが来日した時の様子がニュース放映もされていた。興味があったが、日本語のこの本は6000円と高額だと聞くと、買えないと思ったが、どんな本かと書店に行ってみた。本物は無かったが、特設のコーナーが設けられ、解説本が数種類積まれていた。その中の一冊を購入した。“ニュース深読み”での解説はポイントの処のだけと思ったので、読んで見たいと思う。



＜茂木町の道の駅＞冷たい雨の降る中、大勢の客で混んでいた。そばが美味だった。講座の折に8日撮影

○先日の大竹まことのラジオで室井佑月とのトークで、日々の変化は感じなくても5年前3年前と比べると社会が窮屈になって

いるように思えると話していた。桑田佳祐や爆笑問題の発言を咎める雰囲気など確かにギスギスして来ているようなものを感じる。確かに、大らかさが少しずつ減って来ているように思える。今の世相が戦争へと進んでいた時の世相と似ていると云われるのを聞くと本当に怖くなる。70年戦争をさせなかった憲法9条の意味は重い。世界からの平和の国日本の評価は高い。9条を70年守った国民がノーベル賞の候補になった位である。

○映画監督伊丹万作（伊丹十三の父親）は「だまされていた」といって平気でいられる国民なら、おそらく今後も何度でもだまされるだろう。いや、現在でもすでに別のうそによってだまされ始めているにちがいないのである。と言葉を遺している。意味深な言葉である。凶星であって欲しくない。

○表題の“土楽たより”に相応しくない？記述が多くなったと思うが、今の状況から離れては“土楽”も出来ないし、語れない。重い話題で恐縮だが、お付き合いして頂けると嬉しい。いつも現状から脱皮したと思っているのだが、、、。

【後記】

立春、日が伸びて来ています。田畑に薄い緑が始まっています。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話：090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.ne.jp

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>